

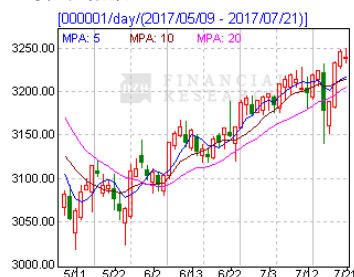


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	21,580.07	-31.71	-0.15	-0.27	9.20	19,762.60
NASDAQ	6,387.75	-2.25	-0.04	1.19	18.66	5,383.12
日経225	20,099.75	-44.84	-0.22	-0.00	5.16	19,114.37
上海総合	3,237.98	-6.88	-0.21	0.48	4.33	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,728.60	-19.29	-0.51	0.69	12.64	3,310.08
ハンセン	26,706.09	-34.12	-0.13	1.20	21.39	22,000.56
H株	10,787.13	-59.70	-0.55	0.55	14.82	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.2%高と続伸、上海総合指数は0.5%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.2%高と続伸した。週末21日に反落したものの20日まで9日続伸し、2年1カ月ぶりの高値をつけた。ナスダック総合指数の高値更新を受けてテンセントをはじめとするIT株やハイテク株が相場の上昇をけん引。米国の利上げ先送り観測に加え、本土からの資金流入が相場を支えた。本土市場では上海総合指数が週間で0.5%高と5週続伸。前週末に開かれた全国金融工作会議を受けて金融引き締めへの警戒感から週初に急落したものの、その後は持ち直す展開となった。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、上値では利益確定売り強まる公算

香港市場は上値の重い展開が予想される。米利上げ先送り観測が追い風となっているが、ハンセン指数は節目の27000ポイントが近づいており、足元で上昇の目立った銘柄を中心に利益確定売り圧力が強まりそうだ。今週のFOMCは無風通過が見込まれているが、ロシアゲート疑惑を巡る公聴会の開催が予定されており、疑惑が深まればリスク回避姿勢が強まる公算。一方、本土市場はしっかりの展開か。高値警戒感は出てきているものの、懸念材料の一つだったIPO審査加速懸念の後退で下値不安は小さいと考えられる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 招商局港口 (00144)	24.90	11.16
2 電能実業 (00006)	75.40	10.07
3 中国蒙牛乳業 (02319)	16.30	8.38
4 中国神華能源 (01088)	18.98	6.51
5 長江インフラ (01038)	69.70	6.01
6 香港証券取引所 (00388)	219.20	4.48
7 テンセント (00700)	297.00	4.28
8 華潤置地 (01109)	24.30	3.85
9 昆侖能源 (00135)	7.69	3.36
10 恒安国際集団 (01044)	60.65	2.71

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車 (00175)	17.58	-5.28
2 キャセイ・パシフィック (00293)	12.30	-3.30
3 信和置業 (00083)	12.80	-1.84
4 中国旺旺 (00151)	5.28	-1.68
5 銀河娛樂 (00027)	46.15	-1.49
6 ホンコン・ファイナガス (00003)	14.72	-1.21
7 恒隆地産 (00101)	19.66	-1.21
8 中国銀行 (03988)	3.76	-1.05
9 中国建設銀行 (00939)	6.35	-0.78
10 香港鉄路 (00066)	44.45	-0.45

▼今週的主要イベント

- 7月25日(火) 【米国】FOMC(26日まで)
- 7月27日(木) 【香港】貿易統計(6月)
- 【中国】工業企業利益(6月)

▼今週の期待材料

- ◆決算発表シーズン本格化を前に業績見通しの発表続く、好業績企業への物色が続く公算
- ◆中国でIPO審査の加速懸念が後退、先週のIPO審査の通過件数は前週並みの9件
- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で差し引き5100億元を市場に供給、供給額は過去6カ月で最大

▼今週の懸念材料

- ◆ロシアゲート疑惑を巡りトランプ・ジュニア氏らが米上院公聴会で証言、疑惑がさらに深まる可能性も
- ◆米国市場で大手IT企業が今週決算発表を予定、予想を下回る内容なら香港市場にも波及する公算
- ◆ハンセン指数の連騰が9日でストップ、上昇の目立った銘柄を中心に利益確定売り強まる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ エン州煤業 (01171) : 4-6月の石炭販売量が31%増加、生産量は13%増
- ☆ BYD (01211) : 早ければ9月にも新型プラグインハイブリッド車「E5DM」を発売
- ☆ AIAグループ (01299) : 28日に5月中間決算を発表、市場予想は18%増益
- ◇ 北京北辰実業 (00588) : 海南省海口市の開発用地を総額23億元で取得
- ★ 中国電力清潔能源発展 (00735) : 1-6月の発電量が11%減少、水力発電は28%減
- ★ 茂業国際 (00848) : 茂業商業への子会社売却計画、市況変動を理由に断念
- ★ 越秀交通基建 (01052) : 6月の通行料収入は0.2%減と悪化、1-6月は4.3%増
- ★ 長城汽車 (02333) : 6月中間決算の速報値は49%減益、販促費などが利益圧迫
- ★ 中国電力国際 (02380) : 6月中間決算は70%超減益の見通し、石炭価格上昇が響く
- ★ 国泰君安証券 (02611) : 6月中間決算の速報値は前年の特別利益の反動で5%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。